

## (2) バス路線網

バス路線は、これまでの民間運行によるバス路線が廃止され、平成13年10月1日より、町運行バス「う・ら・ら」を運行している。開始当初は1路線であったものの、1年後には1号線、2号線の2路線を運行するようになり、現在では4路線6系統に達し、大府市内の一部、刈谷市内の一部まで運行路線を延伸するに至っている。

乗車人数も運行開始以降順調に伸びており、平成21年度では乗車人数237,054人、1日あたり653人が利用しており、高齢者や子ども、障がい者の貴重な交通手段となっている。

表 町運行バス「う・ら・ら」利用者数 (単位:人)

年次	乗車人数	一日当たり
平成13年度	30,204	168
平成14年度	101,286	279
平成15年度	145,756	400
平成16年度	187,255	516
平成17年度	206,804	570
平成18年度	222,721	614
平成19年度	224,571	617
平成20年度	232,588	641
平成21年度	237,054	653
合計	1,588,239	平均 514

【資料：防災交通課】

## 資料 2 - 7 市街化の状況と動向

### 1. D I Dの状況

平成 17 年における D I D 人口は 26,883 人、D I D 面積 4.0km<sup>2</sup>、人口密度は 6,771.5 人/ km<sup>2</sup> となっている。

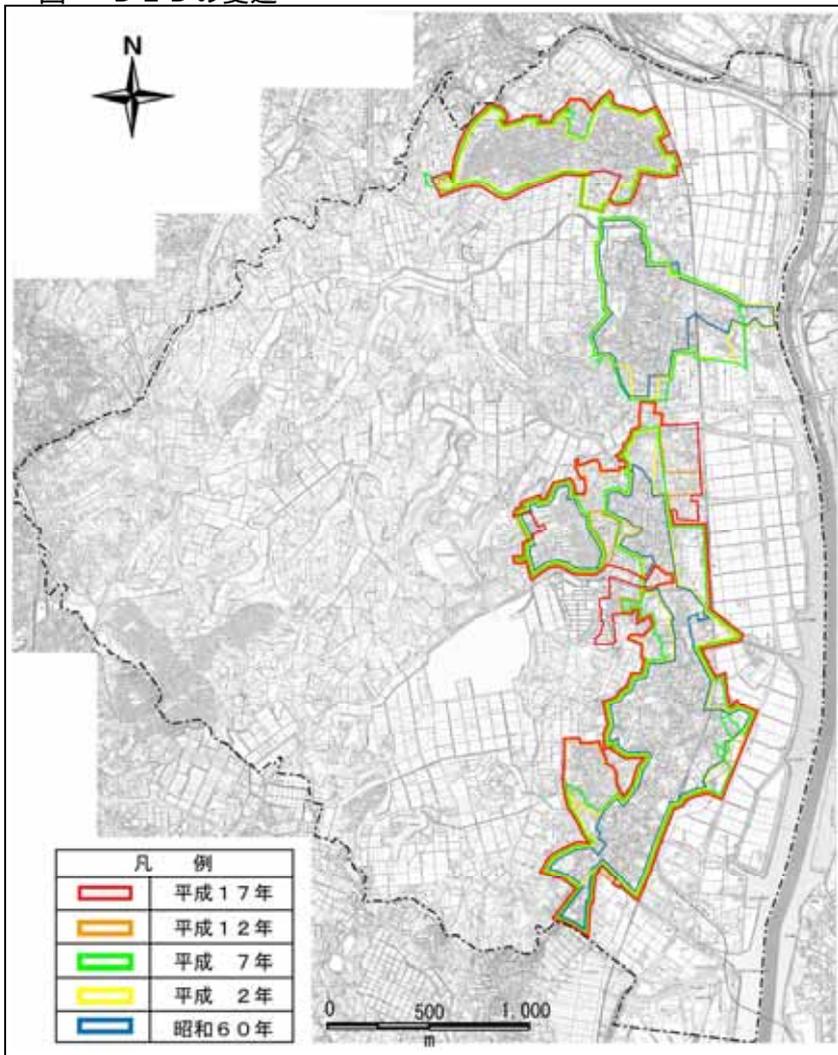
昭和 55 年からの推移を見ると、平成 7 年までは町人口の増加とともに D I D 人口、D I D 面積、町全域比も増加しており、中心市街地への人口集中の傾向が伺える。平成 12 年には D I D 人口、D I D 面積、町全域比の減少があったものの、平成 17 年には再び増加傾向に転じている。

表 D I Dの変遷

年次	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/ km <sup>2</sup> )	町全域比(%)	
				人口	面積
昭和 55 年	17,451	2.5	6,980.40	48.4	7.8
昭和 60 年	19,679	2.7	7,288.50	51.0	8.5
平成 2 年	24,517	3.8	6,451.80	60.6	12.2
平成 7 年	26,753	4.3	6,236.10	63.1	13.8
平成 12 年	24,352	3.8	6,374.90	53.9	12.2
平成 17 年	26,883	4.0	6,771.50	56.0	12.8

【資料：国勢調査】

図 D I Dの変遷



## 2. 建築着工状況

建築着工状況は次表のようであり、平成9・12・13年度における床面積が突出している。その内訳をみると、平成9・13年度は鉱工業の床面積が多く、平成12年度は商業用の床面積が多くなっている。これらのいずれの年も、大規模業務施設の関連建築物と考えられる。

居住用の建築物は増減を繰り返しながら近年は減少傾向にあったが、平成18年度に大きく増加し、約52,000㎡(約65%)となっている。

利用関係別の着工新築住宅戸数を見ると、持家と貸家の住宅個数は平成8・9年度では持家が多かったが、平成10年度に貸家と同程度になり、平成11年度に貸家が持家を上回った。その後、平成12年には再び持家が貸家を上回ったものの、平成13年以降貸家が持家を上回っている。

表 用途別着工建築物床面積

(単位：㎡)

年次	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
居住専用	59,277	53,250	45,468	65,492	66,780	51,132	44,383
居住産業併用	2,516	3,190	2,263	2,207	1,372	1,398	953
農林水産業用	1,751	1,381	1,263	4,023	840	1,098	1,561
鉱工業用	6,240	81,450	3,264	3,451	17,146	92,137	9,915
公益事業用	1,667	22	285	628	527	65	-
商業用	3,952	2,179	3,176	1,388	106,663	11,049	5,668
サービス業用	2,188	3,439	479	2,577	1,127	1,555	1,464
公務文教用	922	4,336	927	3,853	921	1,991	2,562
その他	151	-	-	-	-	-	-
合計	78,664	149,247	57,125	83,619	195,376	160,425	66,506

年次	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	割合(%)
居住専用	42,119	36,994	32,206	52,071	64.5
居住産業併用	311	526	208	-	-
農林水産業用	369	3,076	470	-	-
鉱工業用	5,122	42,311	43,697	13,220	16.4
公益事業用	-	-	489	-	-
商業用	568	826	524	4,191	5.2
サービス業用	18,294	11,342	8,715	10,185	12.6
公務文教用	523	-	3,559	1,066	1.3
その他	411	-	-	-	-
合計	67,717	95,075	89,868	80,733	100.0

【資料：建築着工統計年報】

表 利用関係別着工新設住宅戸数 (単位：戸)

年次	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
持家	311	240	187	234	315	201
貸家	39	61	177	343	198	230
給与住宅	-	1	4	-	-	-
分譲住宅	117	134	78	117	128	129
合計	467	436	446	694	641	560

年次	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	割合(%)
持家	196	193	181	137	190	30.6
貸家	234	254	234	212	395	63.7
給与住宅	1	-	-	-	-	-
分譲住宅	53	15	21	10	35	5.6
合計	484	462	436	359	620	100.0

【資料：建築着工統計年報】

### 3. 農地転用状況

農地転用の状況を見ると、平成11年、平成12年、平成14年、平成19年と転用面積が大きくなっている。平成9年以降の農地転用面積の累計面積のうち、住宅用地が約41%、その他面積が約52%となっており、主に住宅用地への農地転用が行われている。

表 農地転用状況

(単位：a)

年次	総数				公共用地面積	工業用地面積	住宅用地面積	その他面積
	件数	総面積	田	畑				
平成9年	165	597	164	433	-	32	393	172
平成10年	154	699	146	553	-	68	419	212
平成11年	146	1,403	1,030	373	-	125	850	428
平成12年	212	1,600	1,299	301	16	-	432	1,152
平成13年	151	831	465	366	-	5	294	532
平成14年	124	1,099	862	237	-	145	323	631
平成15年	114	797	517	280	-	-	289	508
平成16年	130	878	553	325	-	59	295	524
平成17年	120	752	556	196	-	60	285	407
平成18年	100	859	345	514	-	15	250	594
平成19年	120	2,163	921	1,242	-	317	975	871
平成20年	80	508	230	278	-	43	139	326
平成21年	96	488	209	279	-	72	250	166
合計	1,712	12,674	7,297	5,377	16	941	5,194	6,523

【資料：農業委員会】

#### 4 . 開発状況

主な宅地開発事業及び開発許可（5 ha 以上）の状況は、次表のとおりである。

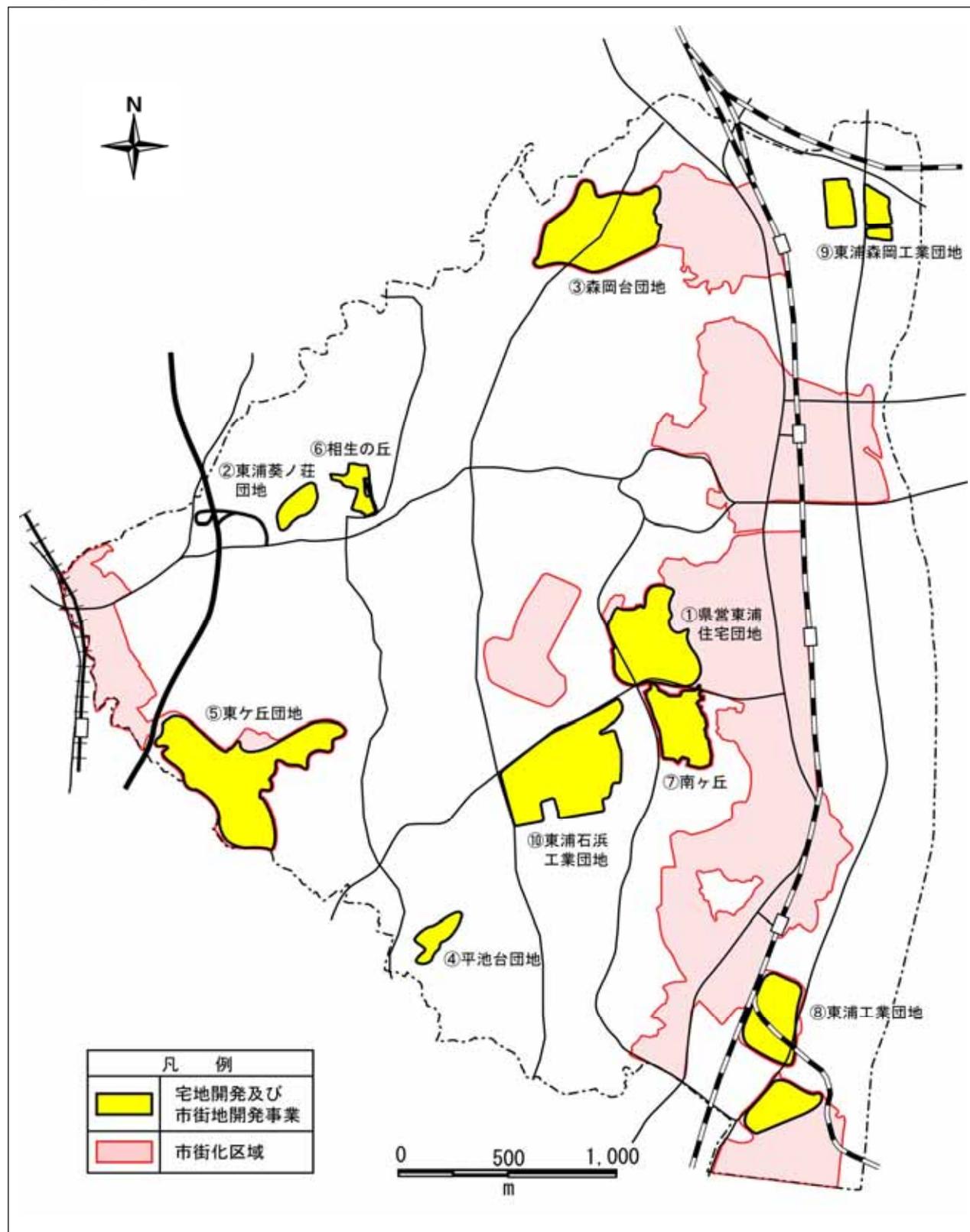
「相生の丘」や「南ヶ丘」などの大規模な住宅開発や東浦石浜における大規模な工業地の造成が行われている。

表 開発状況（5 ha 以上） （平成 22 年 4 月現在）

目的	名称	施工地区面積 (ha)	工期
集合住宅団地	県営東浦住宅団地	34.0	昭和 42 ~ 昭和 46 年度
宅地分譲	東浦葵ノ荘団地	6.1	昭和 45 ~ 昭和 46 年度
宅地分譲	森岡台団地	34.4	昭和 44 ~ 昭和 46 年度
宅地分譲	平池台団地	5.6	昭和 45 ~ 昭和 48 年度
宅地分譲	東ヶ丘団地	59.8	昭和 55 ~ 平成 2 年度
宅地分譲	相生の丘	5.1	平成 18 ~ 平成 19 年度
宅地分譲	南ヶ丘	17.0	平成 19 ~ 平成 21 年度
工業団地	東浦工業団地	36.5	昭和 50 ~ 昭和 56 年度
工業団地	東浦森岡工業団地	13.6	平成 9 ~ 平成 16 年度
工業団地	東浦石浜工業団地	47.3	平成 19 ~ 平成 21 年度

【資料：都市計画課】

図 開発状況



## 資料 2 - 8 都市基盤整備状況

## 1. 市街地整備

市街地は、南北を縦断する国道 366 号沿いに発展した細長い市街地と西部の名鉄河和線を軸とした民間開発中心の市街地で形成されており、市街地が 2 つに分かれている。

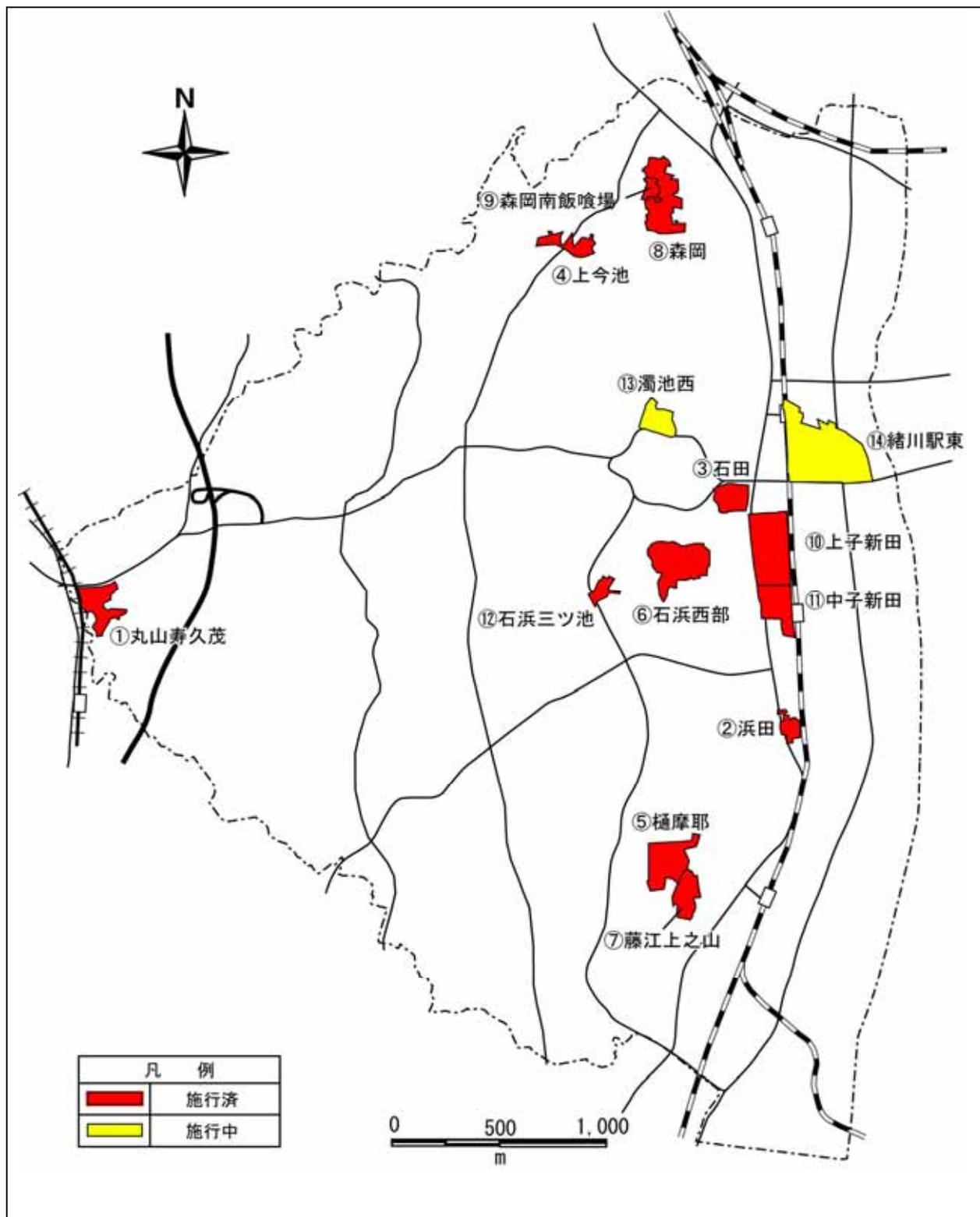
土地区画整理事業は、昭和 53 年に緒川新田地区で初めて行われて以来、東部地域を中心に施行されている。これまでに 12 地区・面積 77.1ha が完了し、本町の新たな顔となる緒川駅東地区、濁池西地区の 2 地区・面積 30.9ha が施行中である。

表 土地区画整理事業一覧 (平成 22 年 4 月 1 日現在)

区分	地区名	面積(ha)	施行者	施行年度
施行済	丸山寿久茂	6.3	組合	昭和 53 年～昭和 58 年度
	浜田	2.0	組合	昭和 61 年～昭和 62 年度
	石田	5.0	組合	昭和 61 年～平成 3 年度
	上今池	4.0	組合	平成 2 年～平成 7 年度
	樋摩耶	8.7	組合	平成 3 年～平成 9 年度
	石浜西部	12.2	組合	平成 3 年～平成 10 年度
	藤江上之山	5.0	組合	平成 3 年～平成 10 年度
	森岡	10.3	組合	昭和 62 年～平成 11 年度
	森岡南飯喰場	1.1	組合	平成 12 年～平成 15 年度
	上子新田	13.8	組合	平成 5 年～平成 16 年度
	中子新田	6.7	組合	平成 8 年～平成 17 年度
	石浜三ツ池	2.0	組合	平成 16 年～平成 20 年度
施行中	濁池西	5.1	組合	平成 12 年～平成 24 年度
	緒川駅東	25.8	公共	平成 9 年～平成 24 年度

【資料：地域振興課】

図 区画整理状況図



## 2. 公園・緑地

平成22年における都市公園の整備状況は、次表のとおりであり、一人当たりの整備済み公園面積は7.11㎡となっている。

近年では三丁公園の整備を進めており、また、自然環境学習の森や飛山池周辺の治山事業など、海岸や自然を活用するための施設の整備も行われている。

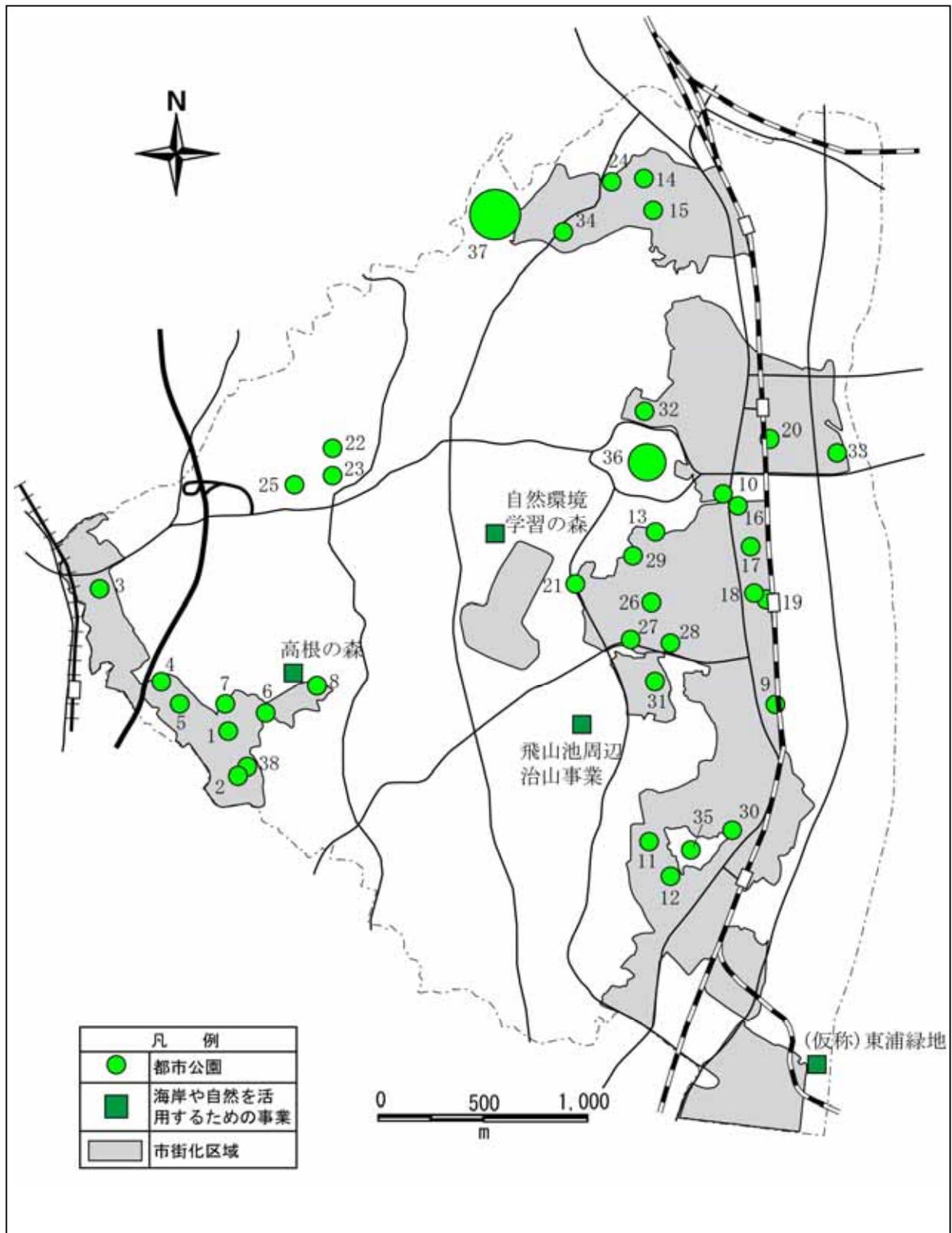
表 都市公園の状況

(平成22年4月1日現在)

	公園種別		名称	所在地	面積(ha)	備考
1	住区基幹公園	街区公園	高根中央公園	緒川字東仙台	0.85	
2	"	"	高根南公園	緒川字東仙台	0.74	
3	"	"	卯ノ花公園	緒川字寿久茂	0.19	
4	"	"	高根北公園	緒川字丸池台	0.34	
5	"	"	高根児童公園	緒川字丸池台	0.10	
6	"	"	高根山公園	緒川字上高根台	0.31	
7	"	"	高根口公園	緒川字上高根台	0.33	
8	"	"	高根東公園	緒川字上高根台	0.12	
9	"	"	浜田公園	生路字浜田	0.10	
10	"	"	石田公園	緒川字平成	0.15	
11	"	"	といまや公園	藤江字ふじが丘	0.27	
12	"	"	上之山公園	藤江字ふじが丘	0.16	
13	"	"	片葩の里公園	石浜字桜見台	0.37	
14	"	"	森岡新池公園	森岡字中町	0.13	
15	"	"	森岡中町公園	森岡字中町	0.21	
16	"	"	かみね北公園	石浜字中央	0.22	
17	"	"	かみね南公園	石浜字中央	0.20	
18	"	"	なかね公園	石浜字なかね	0.13	
19	"	"	石浜駅前公園	石浜字なかね	0.07	
20	"	"	緒川駅東2号公園	緒川字東栄町	0.12	
21	"	"	三ツ池公園	石浜字緑が丘	0.11	
22	"	"	相生の丘北公園	緒川字相生の丘	0.10	
23	"	"	相生の丘南公園	緒川字相生の丘	0.13	
24	"	"	大池南公園	森岡字飯喰場	0.11	
25	"	"	東浦葵ノ荘公園	緒川字中米田	0.16	
26	"	"	白山公園	石浜字白山	0.15	
27	"	"	吹付西公園	石浜字吹付	0.32	
28	"	"	吹付東公園	石浜字吹付	0.18	
29	"	"	藤塚公園	石浜字藤塚	0.17	
30	"	"	厄松池公園	生路字小太郎	0.12	
31	"	"	南ヶ丘中公園	石浜字南ヶ丘	0.38	
32	"	"	濁池西公園	緒川字濁池西	0.29	整備中
33	"	"	緒川駅東1号公園	緒川字辰新町	0.66	整備中
34	"	近隣公園	森岡自然公園	森岡字森の里	1.06	
35	"	地区公園	三丁公園	藤江字三丁	3.50	整備中
36	総合公園		於大公園	緒川字沙弥田	12.08	
37	広域公園		あいち健康の森公園	-	14.06	
38	都市緑地		みどり緑地	緒川字東仙台	0.23	
	広場公園		18箇所		1.21	
	合計		56箇所		40.13	整備済 35.68ha

【資料：公園緑地課】

図 都市公園・海岸や自然を活用するための事業の状況図



### 3. 上水道

上水道の状況は、次表のとおりであり、上水道の普及率は99.6%となっている。

水道事業では、水の安定供給のため、地震などへの対策として、水道管の耐震化を進めるとともに、重要な幹線を連絡する管路の整備を進めている。

表 上水道の状況

年次	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
総配水量(m <sup>3</sup> )	4,995,850	5,158,952	5,214,042	5,218,284	5,333,679	
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	13,687	14,134	14,285	14,258	14,613	
有収水	有収水量(m <sup>3</sup> )	4,677,104	4,768,572	4,854,285	4,883,156	5,017,037
	有収率(%)	93.6	92.4	93.1	93.6	94.1
給水戸数(戸)	14,412	14,795	15,082	15,476	15,867	
給水人口(人)	46,272	47,029	47,684	48,067	48,376	
普及率(%)	99.7	99.8	99.8	99.8	99.8	
1人1日当たりの使用水量 (リットル)	277	278	279	278	284	

年次	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
総配水量(m <sup>3</sup> )	5,389,642	5,503,111	5,626,114	5,570,694	5,551,614	
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	14,766	15,077	15,372	15,262	15,210	
有収水	有収水量(m <sup>3</sup> )	5,113,497	5,192,045	5,270,367	5,258,679	5,230,039
	有収率(%)	94.9	94.3	93.7	94.4	94.2
給水戸数(戸)	16,156	16,450	16,933	16,898	16,970	
給水人口(人)	48,607	48,803	49,247	49,904	49,854	
普及率(%)	99.5	99.5	99.5	99.5	99.6	
1人1日当たりの使用水量 (リットル)	288	291	292	289	287	

【資料：水道課】

### 4. 下水道

下水道は流域関連公共下水道として、境川処理区と衣浦西部処理区に分けており、境川処理区は昭和60年に、衣浦西部処理区は平成5年に事業着手している。

汚水整備については、本町全域を対象として策定した汚水適正処理構想及び全体計画に基づき、汚水施設の整備を計画的、効率的に実施し、境川処理区の森岡・緒川・緒川東部処理分区、衣浦西部処理区の緒川新田・藤江南部処理分区は全体計画区域の内、市街化区域については、ほぼ完了している。生路南部処理分区では一部区域を除き整備が完了し、現在は生路北部・藤江北部・石浜処理分区の整備を行っている。

雨水整備については、平成12年の東海豪雨で広域的に浸水被害が発生し、内水氾濫対策として1時間当たり56mmから1時間当たり70mmの降雨量に対応できる施設の整備を目指し、現在、緊急度の高い地域から優先して整備を行っている。

表 下水道(汚水)の整備状況 (平成 21 年度末)

処理区名	処理分区名	全体計画区域面積(ha)	整備済区域面積(ha)
境川処理区	森岡処理分区	145	95.0
	森岡西部処理分区	29	0.0
	緒川処理分区	207	126.8
	緒川東部処理分区	5	3.0
	小計	386	224.8
衣浦西部処理区	緒川新田処理分区	170	94.6
	石浜処理分区	183	40.2
	生路北部処理分区	102	33.6
	生路南部処理分区	19	10.4
	藤江北部処理分区	100	57.4
	藤江南部処理分区	113	18.0
	藤江東部処理分区	24	0.0
小計	711	254.2	
合計		1,097	479.0

【資料 下水道課】

表 下水道(雨水幹線)の整備状況 (平成 21 年度末)

地区名	排水区名	雨水幹線名	幹線管渠延長(m)	70 mm/時間の整備済延長(m)	56 mm/時間の整備済延長(m)
森岡	森岡第一	森岡1号幹線	767	455	89
		森岡2号幹線	125	125	0
		森岡5号幹線	309	0	309
	森岡第二	森岡3号幹線	1,723	113	216
	森岡第三	森岡4号幹線	793	127	0
緒川	緒川第二 - 1	緒川2号幹線	884	711	154
		緒川4号幹線	1,656	613	582
	緒川第四	緒川5号幹線	1,680	849	0
		緒川6号幹線	415	112	0
	緒川第八 - 2	緒川8号幹線	423	122	0
緒川第九 - 3	緒川9号幹線	168	84	0	
緒川新田	阿久比川第一 - 1	本坪幹線	1,199	630	308
		寿久茂1号幹線	598	358	0
	阿久比川第二 - 1	寿久茂2号幹線	114	114	0
		丸山幹線	273	273	0
	鎌池川第一	丸池山1号幹線	1,233	796	246
丸池山2号幹線	734	661	73		
石浜	石浜	石浜1号幹線	1,577	811	210
		石浜2号幹線	268	45	223
		石浜3号幹線	671	601	70
		石浜4号幹線	838	37	0
	豆搦川左岸	豆搦川左岸幹線	454	454	0
	明德寺川 - 1	明德寺川1号幹線	793	628	0
	明德寺川 - 2	明德寺川2号幹線	37	0	0
生路	生路	生路1号幹線	1,687	1,490	0
		生路2号幹線	1,246	1,078	168
		生路3号幹線	183	183	0
		生路4号幹線	1,316	694	532
		生路5号幹線	487	487	0
		生路6号幹線	691	691	0
藤江	藤江	藤江幹線	1,082	768	314
	須賀川右岸 - 1	蕨幹線	354	354	0
	荒子	南新田幹線	699	459	240
	須賀川左岸 - 1	須賀川左岸幹線	157	15	0
合計		25,634	14,938	3,734	

70 mm/時間:10年に1回程度の大雨、56 mm/時間:5年に1回程度の大雨

【資料 下水道課】

表 下水道(雨水ポンプ場)の整備状況 (平成 21 年度末)

名称	全体計画排水量(m <sup>3</sup> /秒)	整備済排水量(m <sup>3</sup> /秒)
森岡ポンプ場	3.60	0.00
緒川ポンプ場	7.00	5.10
石浜ポンプ場	14.78	0.00
生路ポンプ場	13.50	0.00
藤江ポンプ場	6.72	6.72

【資料 下水道課】

図 下水道（汚水）の整備状況

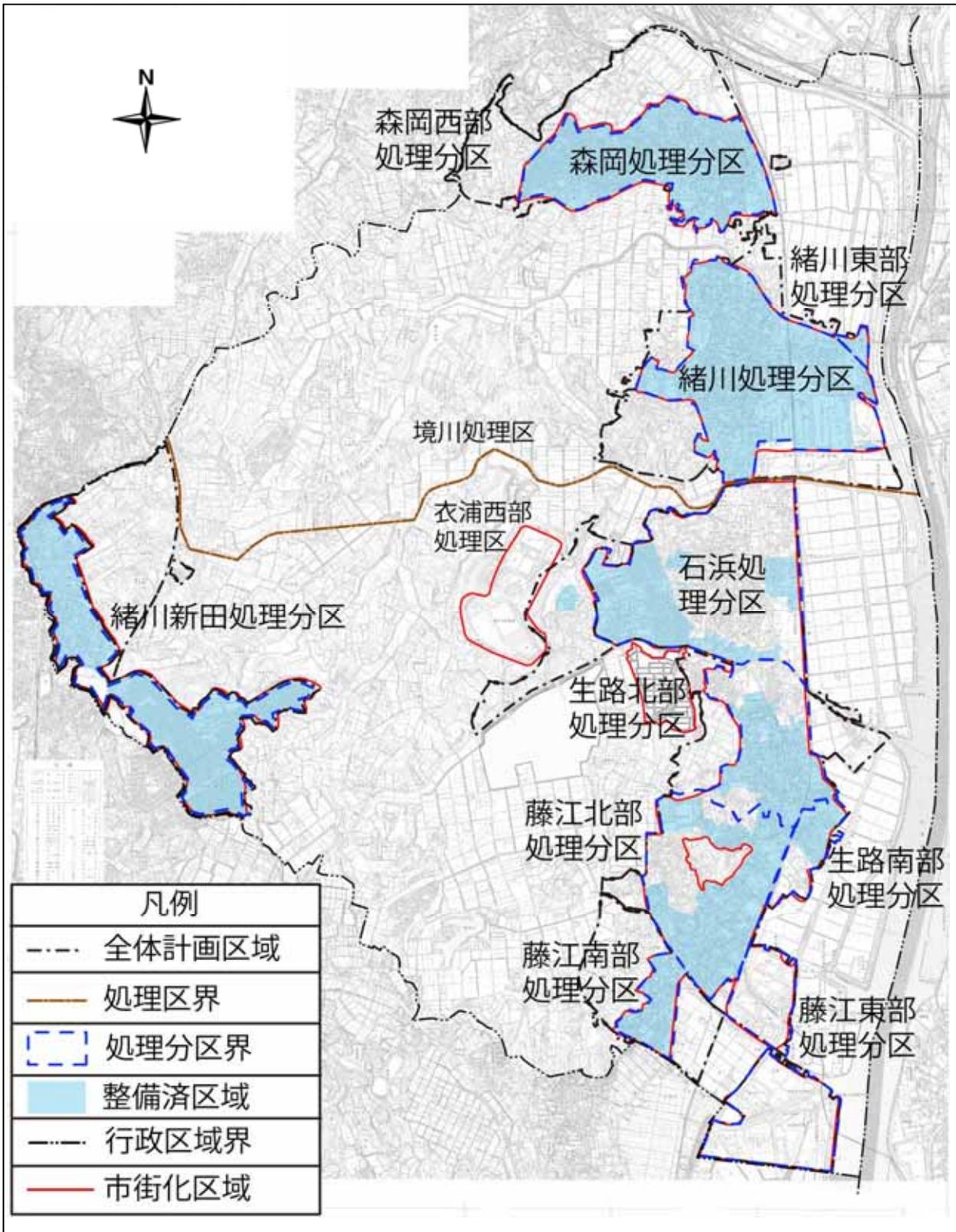
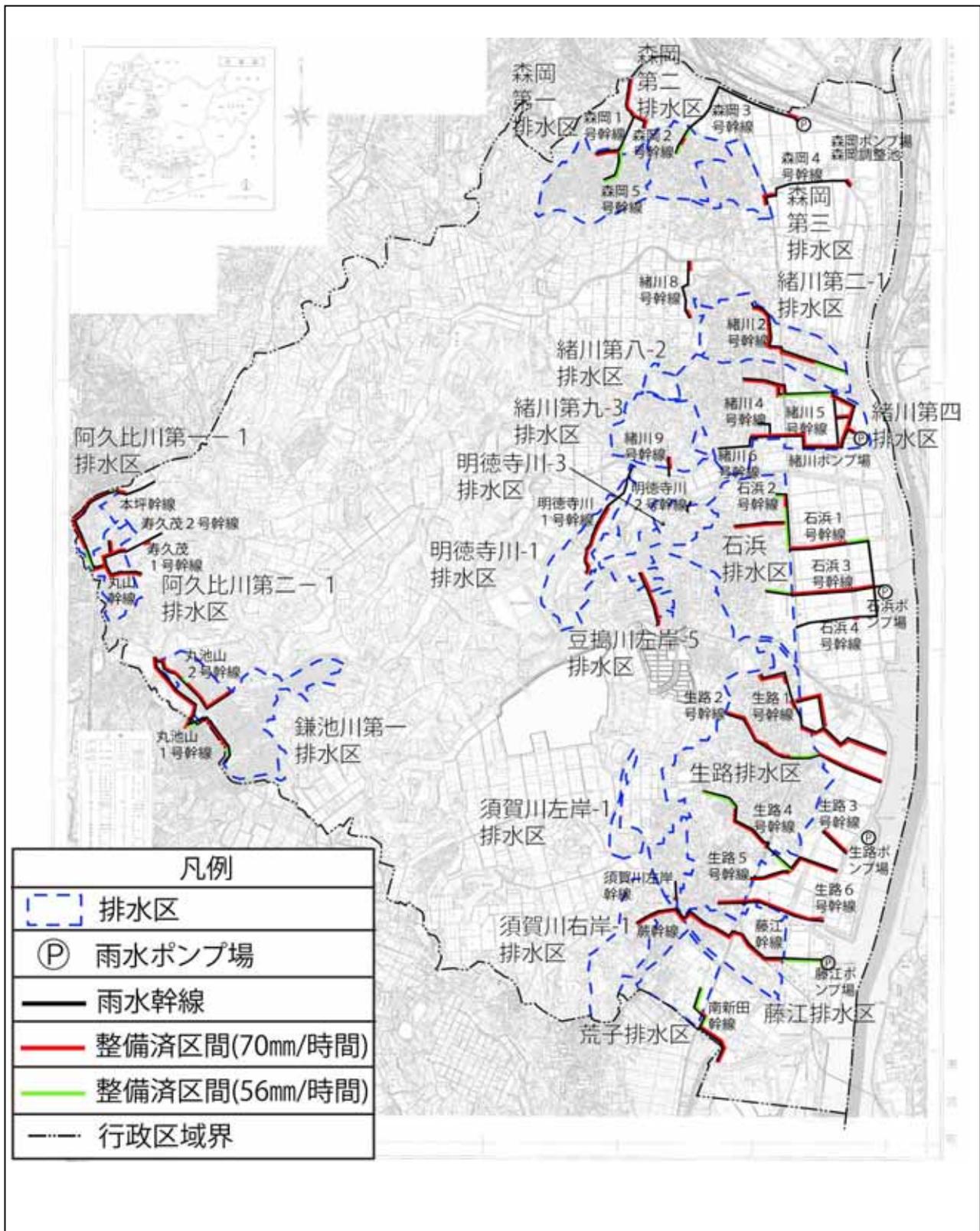


図 下水道（雨水）の整備状況



## 5. 河川

河川は、県の管理する2級河川が7本、町の管理する準用河川が6本及び普通河川が26本ある。

これらの河川のうち、整備済の河川が27本、整備中の河川が3本（すべてが2級河川）、未整備の河川が9本という状況である。

表 河川の整備状況

水系名	河川名	総延長(km)	町内延長(km)	整備状況	
1	境川	2級河川 境川	25.5	3.5	整備中
2	"	2級河川 五ヶ村川	8.6	3.5	整備中
3	"	2級河川 石ヶ瀬川	6.2	2.5	整備済
4	"	2級河川 岡田川	3.6	3.6	整備済
5	"	準用河川 横根川	3.0	0.5	未整備
6	"	準用河川 大府新川	0.6	0.6	未整備
7	"	準用河川 大府江川	1.8	1.8	未整備
8	"	準用河川 村木江川	1.2	1.2	未整備
9	"	普通河川 大池川	0.4	0.4	整備済
10	"	普通河川 大池支川	0.4	0.4	整備済
11	"	普通河川 濁り川	0.7	0.7	整備済
12	"	普通河川 大狭間川	0.2	0.2	整備済
13	"	普通河川 馬川	0.2	0.2	整備済
14	"	普通河川 新池川	1.6	1.6	未整備
15	"	普通河川 岡田川	2.1	2.1	整備済
16	明德寺川	2級河川 明德寺川	3.0	3.0	未整備
17	"	普通河川 舟木川	1.0	1.0	整備済
18	"	普通河川 平六川	1.2	1.2	整備済
19	"	普通河川 下三ツ池川	0.7	0.7	未整備
20	"	普通河川 明覚川	0.5	0.5	未整備
21	"	普通河川 明德寺川	2.1	2.1	整備済
22	豆搦川	2級河川 豆搦川	2.2	2.2	整備済
23	"	普通河川 黒鳥川	0.6	0.6	未整備
24	"	普通河川 飛山川	0.6	0.6	整備済
25	"	普通河川 豆搦川	2.0	2.0	整備済
26	"	普通河川 豆搦支川	0.4	0.4	整備済
27	須賀川	2級河川 須賀川	2.0	2.0	整備中
28	"	普通河川 黒根川	1.2	1.2	整備済
29	"	普通河川 蕨川	0.5	0.5	整備済
30	"	普通河川 藤江川	0.4	0.4	整備済
31	"	普通河川 新川	0.5	0.5	整備済
32	"	普通河川 須賀川	1.2	1.2	整備済
33	阿久比川	準用河川 阿久比川	1.2	0.6	整備済
34	"	準用河川 鎌池川	0.5	0.5	整備済
35	"	普通河川 本坪川	1.1	1.1	整備済
36	"	普通河川 植山川	0.5	0.5	整備済
37	"	普通河川 雁狭間川	0.8	0.8	整備済
38	"	普通河川 鎌池支川	0.2	0.2	整備済
39	"	普通河川 鎌池川	1.2	1.2	整備済

【資料：管理課】

## 資料2 - 9 公共公益施設の整備状況

### 1. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校

幼稚園1園、小学校7校、中学校3校、高校1校が立地している。

表 幼稚園・小学校・中学校・高等学校の状況(平成22年5月1日現在)

施設名	学級数(学級)	園児・児童・生徒数(人)	校地面積(m <sup>2</sup> )	運動場(m <sup>2</sup> )
東ヶ丘幼稚園	-	230	3,713	-
森岡小学校	18	491	20,920	10,364
緒川小学校	16	452	37,876	18,693
卯ノ里小学校	17	492	24,119	8,404
片葩小学校	21	624	19,848	7,790
石浜西小学校	10	210	28,696	8,655
生路小学校	13	383	20,611	8,423
藤江小学校	20	525	29,557	13,649
東浦中学校	27	948	37,217	14,532
北部中学校	15	449	41,263	22,178
西部中学校	10	276	38,595	13,405
東浦高等学校	15	539	-	-

【資料：学校基本調査、学校教育課、東浦高等学校】

### 2. スポーツ施設

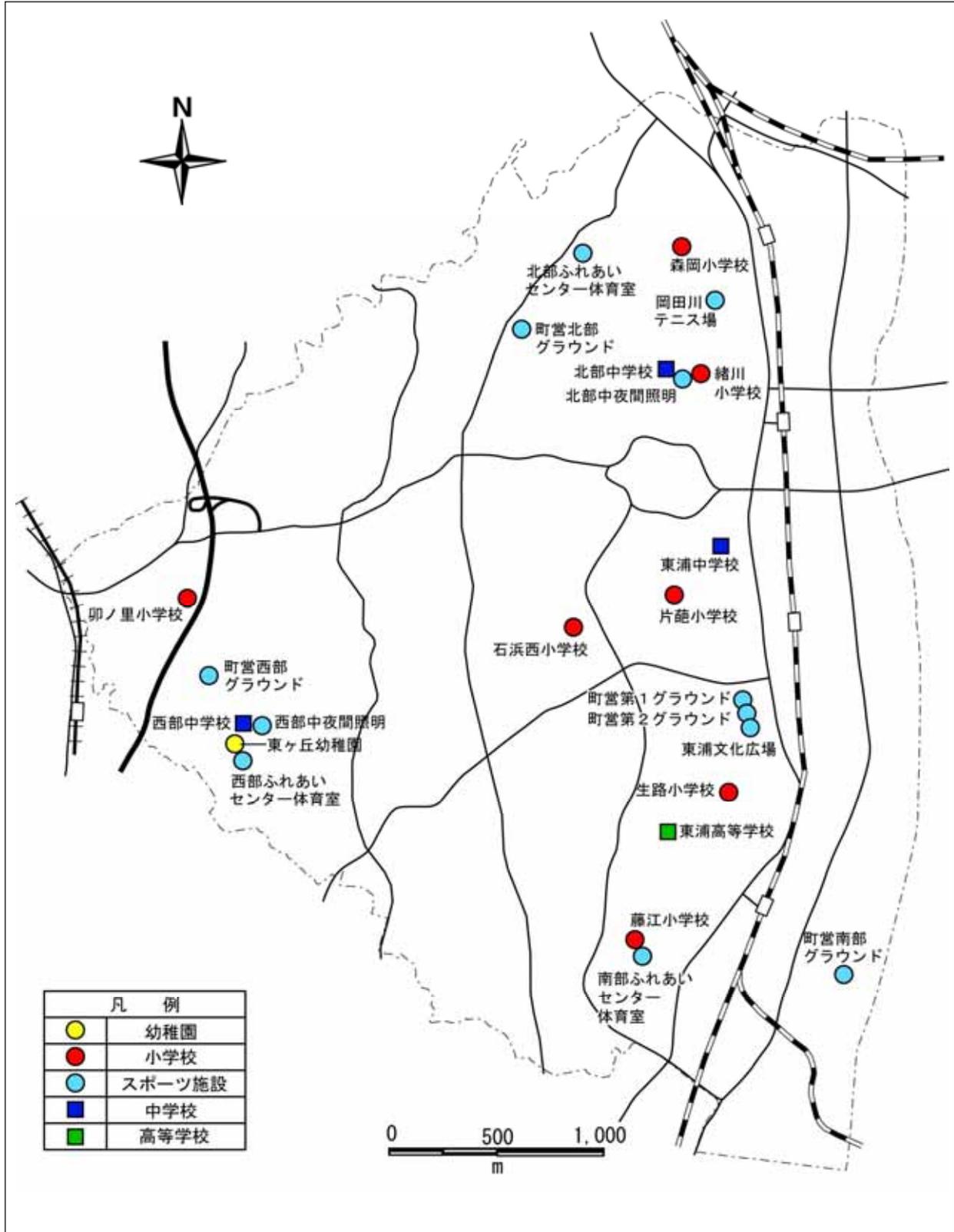
スポーツ施設は、体育館、グラウンド、テニスコート、ゲートボール場などに加え、あいち健康の森内に様々な施設が整備され、生涯を通じた健康づくりやスポーツを楽しむ場が数多く提供されている。

表 スポーツ施設の状況

施設名	施設内容	
東浦文化広場	アリーナ	バレーボール・バスケットボール各2面、バドミントンなど
	小体育室	卓球台8台
	柔剣道場	柔道、剣道
	テニスコート	コート4面
	ゲートボールコート	コート2面
町営第1グラウンド・夜間照明	野球・サッカー各1面、ソフトボール2面	
町営第2グラウンド	ソフトボール・少年野球各1面	
北部中夜間照明	野球1面、ソフトボール・サッカー各2面	
西部中夜間照明	野球・ソフトボール・サッカー各1面	
町営北部グラウンド	ソフトボール・少年野球各2面	
町営西部グラウンド	野球・サッカー各1面、ソフトボール・少年野球各2面	
町営南部グラウンド	野球1面、ソフトボール・少年野球各2面	
岡田川テニス場	コート3面	
南部ふれあいセンター体育室	バドミントン3面、バレーボール・バスケットボール各1面など	
西部ふれあいセンター体育室	バドミントン2面、バレーボール1面、卓球台8台など	
北部ふれあいセンター体育室	バドミントン2面、バレーボール1面、卓球台8台など	

【資料：スポーツ課】

図 幼稚園・小学校・中学校・高等学校及びスポーツ施設の状況



### 3 . 行政・文化施設など

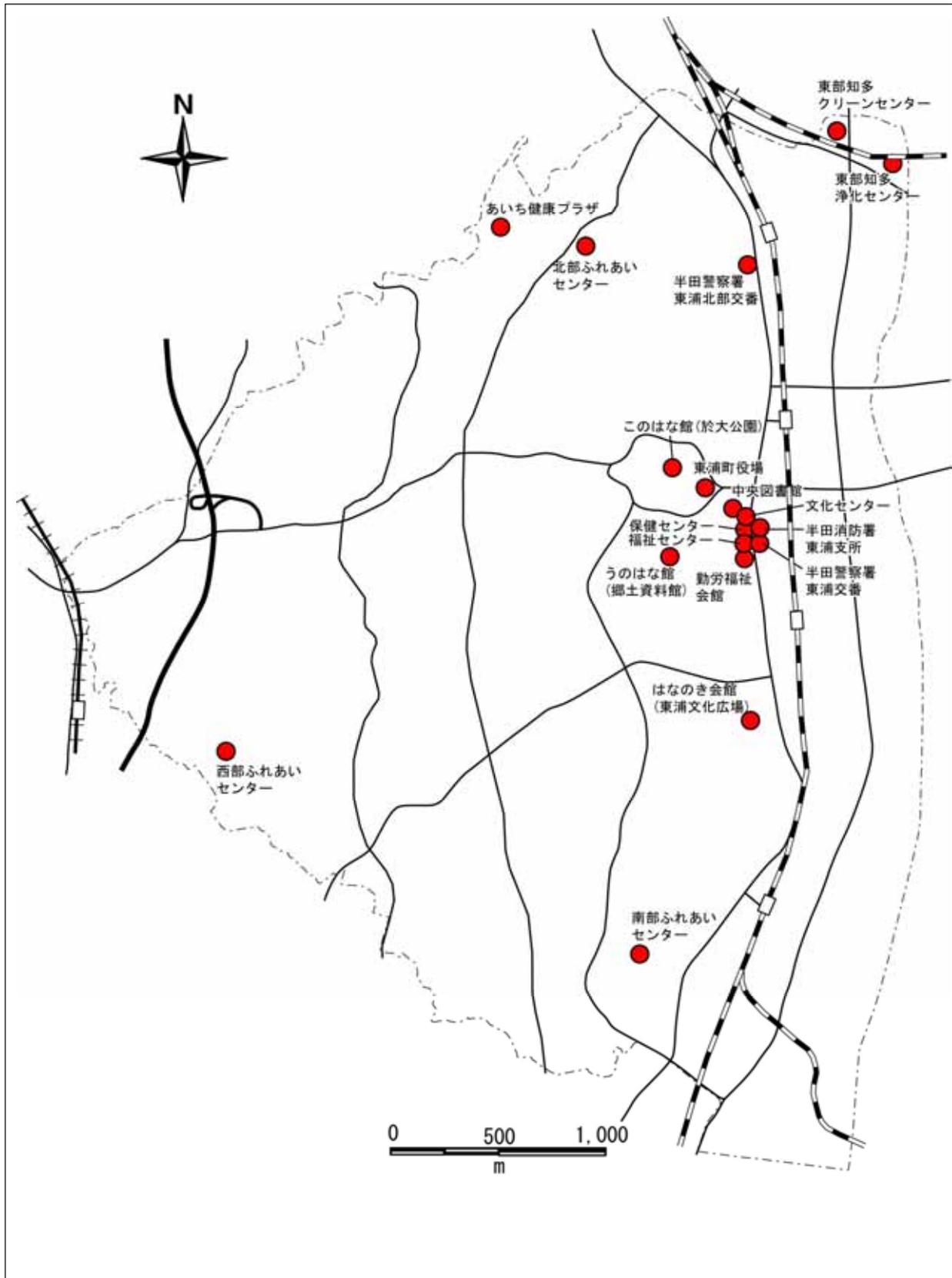
役場をはじめ、警察署、消防署の出先機関の行政施設、文化センター、中央図書館、ふれあいセンター、うのはな館（郷土資料館）などの文化施設、保健センター、福祉センター、勤労福祉会館などの福祉施設は、その大部分が東部の緒川・石浜地区に立地している。

また、公民館、老人憩いの家、児童館などの福祉施設は各地区に配置されている。

表 行政・文化施設などの状況

行政施設	医療・福祉・老人保健施設
東浦町役場	保健センター
半田警察署東浦交番	福祉センター
半田警察署東浦北部交番	勤労福祉会館
半田消防署東浦支署	環境施設
はなのき会館(東浦文化広場)	東部知多クリーンセンター
文化センター	東部知多浄化センター
中央図書館	その他
南部ふれあいセンター	あいち健康プラザ
西部ふれあいセンター	
北部ふれあいセンター	
うのはな館(郷土資料館)	
このはな館(於大公園)	

図 行政・文化施設などの状況



## 資料2 - 10 防災

### 1. 山地災害対策

傾斜地の崩壊に対する危険地区が17箇所あり、防災工事を施工しても、自然の破壊力の大きさを考えると万全とはいえないため、平常時からの巡視を行い、災害発生の防止、軽減に努める。

表 危険地区 (平成22年2月現在)

	危険地区	整備状況
1-	緒川字屋敷吉区地区	未整備
1-	緒川字屋敷吉区地区	整備済
1-	緒川字下舟木地区	整備中
1-	緒川字上高根台地区	整備済
1-	石浜字三本松地区	未整備
1-	石浜字御保田地区	未整備
1-	石浜字西平地地区	整備中
1-	石浜字飛山池上地区	整備中
1-	生路字狭間地区	未整備
1-	生路字狭間地区	整備済
1-	生路字坂下地区	整備済
1-	生路字弁財地区	整備済
1-	生路字傍示松地区	未整備
1-	藤江字仏地区	未整備
1-	藤江字高ツブラ地区	未整備
1-	藤江字山敷地区	未整備
1-	藤江字北根地区	整備済

【資料：管理課・公園緑地課】

### 2. 重要水防箇所

町内の河川、ため池などで、水防上注意を要する箇所が重要水防箇所として指定されている。

河川については、12箇所が重要水防箇所として指定されている。

表 重要水防箇所（河川）

	河川名	箇所数	理由	重要度
県管理	境川	1	洗掘	B
	五ヶ村川	2	法面不良、堤防高不足	B・C
	明德寺川	2	堤防高不足	B
	須賀川	4	断面不足、洗掘、法面不良	B
町管理	大府江川	2	断面不足	B
	新池川	1	断面不足	B

【資料：管理課】

表中、重要度欄の「A」は水防上最も重要な区間を、「B」は次に重要な区間を、「C」はやや危険な区間をいう。

### 3. 海岸堤防

海岸線はすべて海岸堤防で囲まれており、国土交通省所管の堤防 3,735m、農林水産省所管の堤防 1,250m、あわせて 4,985mがある。

### 4. 排水機場

湛水被害のおそれのある下記の9地域においては、湛水被害を防ぐために排水機場を設置している。

表 排水機場設置箇所

	名 称	所 在 地
2-	村木江川排水機場	緒川字流作
2-	五ヶ村川第一排水機場	緒川字北新田
2-	辰新田排水機場	緒川字辰新田壹区
2-	緒川第二排水機場	緒川字東新町
2-	成実新田排水機場	石浜字北成実
2-	石浜排水機場	石浜字南成実
2-	生路排水機場	生路字新々田
2-	銅屋新田排水機場	藤江字稻栄二区
2-	南栄排水機場	藤江字皆栄新田

【資料：土木課】

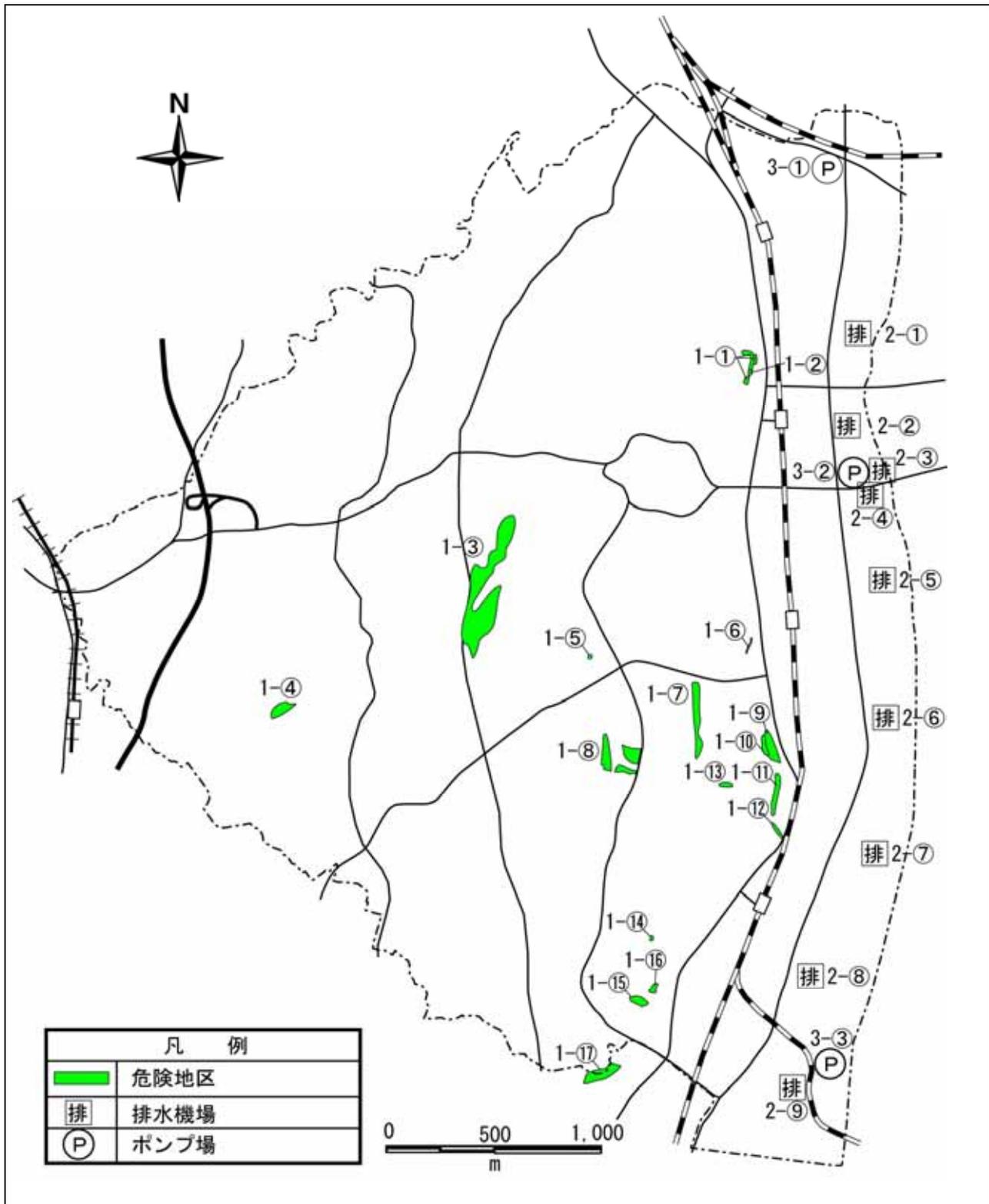
また、浸水被害の軽減を図るため、下記のポンプ場を設置している。

表 ポンプ場設置箇所

	ポンプ場名称	所 在 地
3-	森岡ポンプ場	森岡字栄北
3-	緒川ポンプ場	緒川字辰新町
3-	藤江ポンプ場	藤江字亥子新田

【資料：下水道課】

図 危険地区、排水機場、ポンプ場の位置図



## 資料 2 - 1 1 景観

## 1. 景観

景観は、その土地固有の地形や自然、歴史、また、その土地に住む人々の生活や産業を反映した総合的なものであり、豊かな自然環境から演出される自然特性と日々の生活から生まれる社会特性が織り成し、豊かな景観を形成している。

本町の景観は、東部の海沿いと西部の丘陵地では、その趣が大きく異なる。東部の海沿いの平坦部では水田や海岸で構成される広々とした景観であり、西部の丘陵地では起伏に富んだ地形とその地形に編みこまれた樹林地や農地、河川、ため池で構成される心安らぐ景観である。

本町の緑に関する景観要素とその特徴は次表に示すとおりである。

表 本町を代表する景観

区分		特徴	代表的な景観など
自然 景観	地形、樹林地	丘陵地に小規模な樹林地が広く点在している。 土地利用の難しい斜面地にまとまった樹林地が残っており、視覚的には重要な緑地となっている。	緒川南地区の工場地（工場と周辺樹林地） 高根の森
	水辺（海岸など・河川・ため池）	海岸線はコンクリートの堤防となっているが、野鳥の生息地となっている干潟が見られる。 明德寺川沿いに遊歩道（桜並木）が整備され、町民の憩いの場となっている。 河川はコンクリートの3面張となっており、親水性に乏しい。 ため池が多数残り、その水面が潤いのある景観となっている。 上申ヶ池周辺には遊歩道が整備されている。	衣浦湾奥部の干潟（野鳥の生息地）  於大のみち（桜並木）  境川堤防  飛山池と周辺樹林地 黒根池と周辺樹林地 上申ヶ池と遊歩道
	農地	海岸部に近い平坦部にまとまった水田地帯が広がる。 耕作されていない水田が、荒地となりつつある。 丘陵部には、畑地が広がる。	水田地帯（海拔0m 地帯）  遊休農地（草地）  丘陵部の畑地
都市 景観	街並み、道路	新住宅地では、道路面に生け垣が目立つ。年数を経て緑が豊かに。	東ヶ丘団地（豊かな緑）
	公園緑地	広域公園として整備されたあいち健康の森公園とあいち健康プラザ。 於大公園は、町のシンボリック的存在となっている。	公園の緑地と水辺 あいち健康プラザ 於大公園の緑
歴史 景観	寺社、史跡など	豊かな社寺林に囲まれた社寺が多数存在する。 市街地内に残る貴重な樹林地となっている。	伊久智神社（鎮守の森） 乾坤院（歴史的な樹林地） 入海神社

【資料：緑の基本計画】